

高田みかん

毎月、まちの話題やまち協の行事などをご紹介します。

2026年11月号

制作：企画広報部会

地震発生から3カ月 『静』から『動』へ

最大震度7を観測し、地震の発生から28日で3カ月。仮設住宅の建設や学校生活の再開など、生活再建に向けた動きは徐々に進んでいます。







災害廃棄物処理場は、八代水処理センター・鏡町支所・北新地グラウンドと三か所ありますが、どの処理場も毎日満杯状態です。









地震で崩壊し道路を塞いでいた建物やブロックなどは除去され通行ができるようになり、少しずつですが確実に復興に向かっています。

がまだせ熊本！
がまだせ高田！

※ １０月１日（木）より身分証等・り災証明証明書等が必要になっています。
※ 北新地グラウンド仮置場の一般受入れは１０月３１日（土）をもって終了となります。
※ 鏡支所仮置場の受入休止日が１１月１日（日）から毎週火曜日・金曜日になります。

集団宿泊教室 五中1年生





９月16・17日の2日間、あしきた青少年の家で集団宿泊教室が行われました。講話や集団行動、マリン活動などを体験しました。





【写真は五中ＨＰから引用】

編集後記

地震被害からの日常の取り戻し・復旧には、ご苦労されておられることと思います。地震後水が出ず、日常生活での水の大切さを実感いたしました。用水路への地震被害や猛暑による野作物への雨不足も心配の絶えない夏でした。ポンプで給水されている光景を見る度に雨を願い、稲穂が垂れて、黄金色を帯びてくる稲田にホッとするなど一喜一憂が続きました。球磨川のありがたさを実感し、用水路の水の流れにも関心を持つようになりました。収穫の秋が訪れ、先日はお隣の稲の刈取りも無事行われました。また、近所の大木「ご典医さんのタブノキ」は剪定され、なんとか元気に葉を茂らせていることに「がんばれタブノキさん」と応援しています。

これまでに経験してきたような、おだやかな秋でありますように。

（茂）

今後の災害に備えて各家庭でも備蓄を！

過去の例によれば、災害発生からライフラインの復旧まで1週間以上かかるケースがほとんどです。また、災害支援物資が届かないことや、スーパーやコンビニで食品が手に入らないことが想定されます。
最低３日分、できれば1週間分を基本として準備することが推奨されています。

